

令和7年度 浜松市佐鳴台中学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果及び考察

別紙（学校生活アンケート集計結果）のとおり

2 学校関係者評価

2月13日(金)に開催した学校関係者評価委員会(第3回学校運営協議会)において、自己評価結果及び考察について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

①学校生活アンケートの結果がよいことも、自分の子供も毎日学校が楽しいと登校しているし、学校がよい雰囲気運営してもらえて「ありがたい」と思っている。

生徒は非常に落ち着いており、先生方を信頼していると感じる。

②全国学力・状況調査について、外国籍の生徒も多いと聞いていたが、全国や県の平均を上回っており、頑張っていると感じた。

③学校生活アンケートの結果は概ね良好だが「楽しく学ぶこと」と「学力の伸び(知識の定着)」を同時に成立させることは難しいのか、あるいは相乗効果があるのか。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

①今後もアンケート結果を分析・検討し、生徒に寄り添った対応を心がけ、よりよい学校運営につなげていけるように改善を図っていく。また生徒と教師の信頼関係も大切にしていく。

②日本語が不十分な外国につながる生徒の授業については、外国人担当が学級担任や教科担当、外国人就学支援員と連携を図りながら、学力の定着できるように指導を継続していく。さらに放課後学習も外部団体と協力しながら継続していく。

③生徒たちは新しい学びに目を輝かせる。タブレット等の活用と知識の定着のバランスについては、校内研修のテーマである「主体的に学ぶ生徒の育成」を継続し、授業改善、学力向上を図る校内研修を継続していく。また、校内で授業公開を行ったり、教員同士でコミュニケーションを図ったりすることで情報を共有していく。

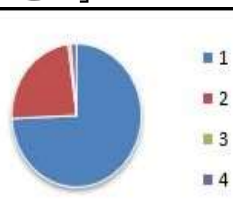
学校関係者評価

<学校生活アンケートより> 【全校生徒・保護者を対象に R7.6 月と 11 月に実施】

○生徒は「学校生活が楽しいですか」という質問に対して、97.9%（昨年度 95.0%）が「そう思う」「大体そう思う」と回答している。保護者は「お子さんは、学校生活を楽しいと感じているようですか」という質問に対して、93.4%（昨年度 88.0%）が「そう思う」「大体そう思う」と回答している。

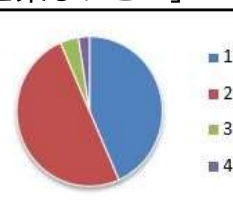
<生徒> 「学校生活が楽しいと…」

1	そう思う	74.3
2	大体そう思う	23.6
3	あまりそう思わない	0.7
4	そう思わない	1.4



<保護者> 「学校生活を楽しいと…」

1	そう思う	43.4
2	大体そう思う	50.0
3	あまりそう思わない	4.1
4	そう思わない	2.5

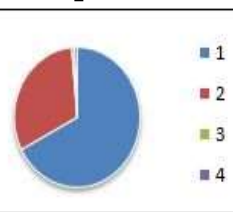


昨年とほぼ同じ水準で推移しており、来年度も「生徒がよりよい未来を創るために必要な資質・能力を育む」ことを基本方針として、本年度の活動の見直ししながら改善を図っていきます。

○生徒は「先生は、勉強が分かるように教えてください」「先生は、『知りたい』『やってみたい』『できるようになりたい』と思うような授業をしてくれますか」という質問に対して、98.7%（昨年度 98.4%）、97.9%（昨年度 97.8%）が「そう思う」「大体そう思う」と回答している。

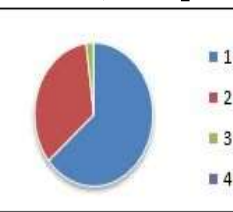
<生徒> 「勉強が分かるように…」

1	そう思う	67.4
2	大体そう思う	31.3
3	あまりそう思わない	0.7
4	そう思わない	0.7



<生徒> 「『知りたい』『やってみたい』…」

1	そう思う	63.9
2	大体そう思う	34.0
3	あまりそう思わない	2.1
4	そう思わない	0.0

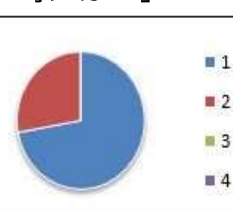


95%以上の生徒が、高評価を付けており、「主体的に学ぶ生徒の育成」を継続し、授業改善、学力向上を図る校内研修を継続していきます。また、複線型授業の展開や各教科での個別課題については、校内で授業公開を行うことや教員同士でコミュニケーションを図ること、情報の共有を行っていきます。

○生徒は、「勉強が分からない時には、先生が手助けをしてくれますか」「先生は、頑張っていることをほめてくれたり、困っているときに相談にのってくれたり、助けてくれたりしますか」という質問に対して、100%（昨年度 97.7%）、99.3%（昨年度 97.8%）が「そう思う」「大体そう思う」と回答している。

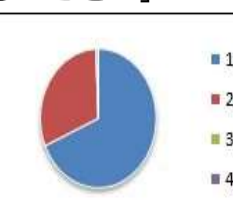
<生徒> 「勉強が分からない時には…」

1	そう思う	72.2
2	大体そう思う	27.8
3	あまりそう思わない	0.0
4	そう思わない	0.0



<生徒> 「頑張っていることを…」

1	そう思う	68.5
2	大体そう思う	30.8
3	あまりそう思わない	0.7
4	そう思わない	0.0

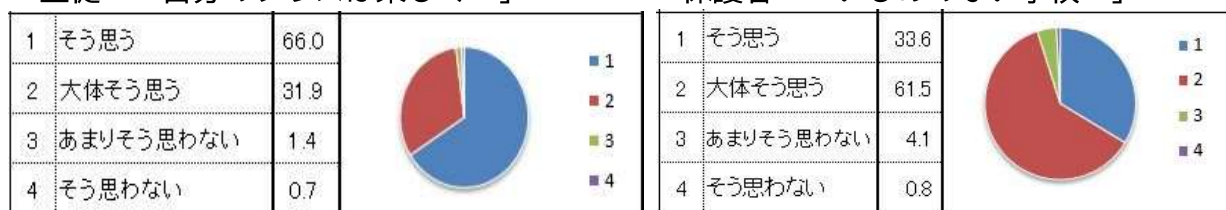


生徒達がほぼ 100%と高評価を付けていることから、生徒達にとって先生方が日頃から近くに寄り添い、声掛けをしていることで高評価につながっていると考えられたため、来年度も、日頃から生徒達の近くに寄り添い、継続的に声を掛けるようにしていきます。また、教科相談の時間の充実を図ることや朝活動、帰りの会の声掛けや語り掛けを充実させていくことで生徒達が相談しやすい環境を整えていきます。

○生徒は、「自分のクラスは楽しく、教室は安心できる場所ですか」という質問に対して、97.9%（昨年度 95.0%）が「そう思う」「大体そう思う」と回答している。保護者は「学校は、いじめのない学校、学級、集団づくりに取り組んでいると思いますか」という質問に対して、95.1%（昨年度 92.0%）が「そう思う」「大体そう思う」と回答している。

<生徒>「自分のクラスは楽しく…」

<保護者>「いじめのない学校…」



95%以上の生徒が高評価を付け、保護者も昨年度より約 3.1%上昇している。2大行事を行う中で、学級での人間関係が向上できるように学級担任が声掛けを行ってきたことや、計画的に「人間関係プログラム」「ピアサポート」を実施したことで、安心感のある学級がつくられたと考えられる。来年度も適切な時期に行事やピアサポートや人間関係プログラムを行い、人間関係を構築していけるように計画していきます。

全体として

○ほとんどのアンケート項目で 90%を超えており、概ね良好な結果が得られたと考えられる。そのため、来年度に向けての教育課程計画も本年度の活動を継続しながら教育活動を進めていきます。

▽生徒アンケートで、「地域の活動に積極的に取り組んでいますか」「将来に対する夢や希望をもっていますか」という質問では 80%前後であった。「地域の活動」への取り組みに関しては、来年度も教師側から地域ボランティアへの参加を促すとともに、地域と連携を図り、生徒がボランティアへ参加しやすい方法を工夫していきます。また、地域貢献や心の教育を図っていきます。

「将来に対する夢や希望」についても、総合的な学習の時間の「佐鳴湖学習」「多文化共生・職業学習」「みらいの浜松」を充実させていくことや、講話などを計画的に行っていくことでキャリア教育の充実を図ります。また、生徒が自己をみつめ、好きなこと、やりたいことが考えられるように年間計画を構築していきます。

▽全体として「学習や生活などについて、先生に相談しやすいですか」について高評価を受けているが、学年によって「そう思う」「大体そう思う」と回答する生徒の割合に違いが見られた。そのため生徒に寄り添った声掛けや指導は継続しつつ、より質を高めていけるように、職員が一丸となって生徒への対応を行っていきます。

<令和7年度の学校運営協議会より>

◇授業の様子について

- ・学年によって一クラスの人数に差があるが、タブレットを用いた授業などで人数による不都合や大変なことはないのか。
- 人数が多い、少ないことによる不都合や大変なことは特にはない。タブレットを利用し、リモート授業に参加する生徒もいるため、タブレットが役立っている。
- ・2年生は一クラスの人数が多く、体も大きくなっている。教室にゆとりがなく、他の生徒との距離が近いように感じた。他者との距離が近いことが苦手な生徒もいると思う。

◇学校生活アンケート、全国学力・状況調査の結果報告と検討について

- ・アンケート結果がよいことも、自分の子供も毎日学校が楽しいと言っているし、学校がよい雰囲気運営してもらえて「ありがたい」と思っている。
- ・学校生活アンケートについて、全体としてよい結果だが、保護者アンケート「学校はいじめのない学校、学級、集団づくりに取り組んでいますか」という質問に対して、2年生は1、3年生と比べて割合が低かった。学校はどのように分析をしているのか。
- 2年生保護者の回答数自体が多くなかった。そのため一部の意見で割合が高くなってしまった面もある。回収率を上げるにあたっても、言語の問題もあり難しい面もある。
- ・全国学力・状況調査について、外国籍の生徒も多いと聞いていたが、全国や県の平均を上回っており、頑張っていると感じた。
- 取り出し授業を行っている外国籍の生徒もいるが、前向きな生徒や保護者がいることや進路に向けて頑張っている生徒も多くいると感じている。

来年度も生徒に寄り添った対応を心がけ、保護者と情報を共有していきます。